

菱池遊水地 想定外を想定し、 町民を守る

桐山地区を源流域とし、町内を流れ矢作古川（西尾市）に注ぐ広田川。平成12年9月の東海豪雨、平成20年8月末豪雨で、菱池地内の堤防が決壊し床上浸水などの大きな被害をもたらしました。このような被害を再びもたさないよう、県の事業として菱池遊水地事業は進められています。

東海豪雨時の浸水状況（菱池付近）



破堤地点と菱池地区の浸水状況（H20.8）



広田川の流域では、市街化が進むなど土地利用の変化により、以前は田畑に浸透したり貯められていた雨水が河川に流出するようになったため、水害の危険性が高まっています。このことから広田川の河川改修を進めることに加えて、下流部の洪水の負担を軽減させる目的で相見川との合流点付近（菱池字菱池地内）に菱池遊水地が設置されることになりました。

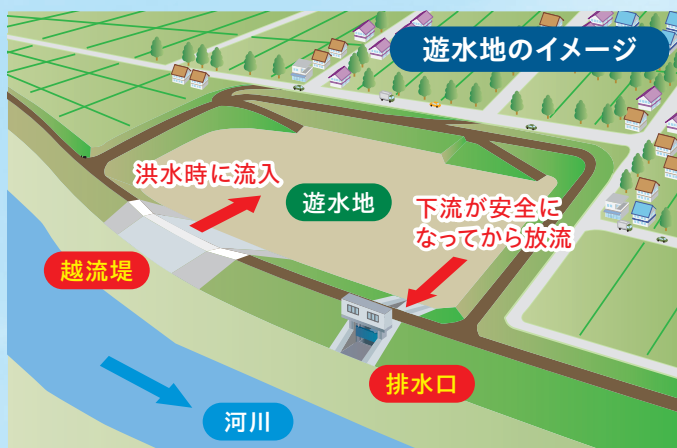
目的

遊水地とは

仕組み

遊水地は、河川の堤防の一部を低くした越流堤を使い、川の水を“あえて”堤防からあふれさせ、水を溜めるための場所のことです。川の水位が下がってから溜まった水を排水口から下流に放流することで、地域の洪水被害を軽減させます。遊水地が完成すると、平成20年8月末豪雨（降水量146.5mm/時間）の時のような災害でも、河川の水位を1.2mほど低下（西尾市内永良水位観測所における値）させることが可能となり、浸水被害を低減させることが期待されます。

遊水地のイメージ



〈事業概要〉

河川名：一級河川矢作川水系 事業期間：令和元年～8年
 広田川 面積：24ha
 事業主体：愛知県 (バンテリンドームナゴヤ5個分)
 全体事業費：57億5千万円 貯水量：654,000m³ (25mプール約1,400杯分)

位置図



河川改修が進む広田川(新田地内)



部分的に完成した築堤盛土の状況

遊水地の整備が進んでいます

広田川下流から菱池遊水地までの河川改修のめどが立ってきたことから、その整備効果を最大限に発揮させるため、菱池遊水地の整備を令和元年度から実施しています。

用地の取得

令和元年度から令和3年5月までに、地域の皆さんのご協力により、必要な事業用地の買収を完了することができました。

築堤の工事(深層改良工)

堤防は位置図で黄色に示している遊水地の外周約2kmの部分で、洪水時には雨水を溜めるために、とても重要な役割を果たします。令和3年度からは、この堤防の築造工事に着手しています。

①堤防を築造するにあたり、地盤が軟弱なことから地盤の補強を行います。重機の先端についているスクリューで



改良機による深層改良の様子

土とセメントを混ぜて、地下7m程度までを改良します。

②改良により補強された地盤の上に堤防をつくります。幅約22m、高さ約4mにもなる大きな築堤盛土です。

そのほかの工事

遊水地外周の築堤のほかにも越流堤や排水口の整備、揚排水機場の移設など順次工事を進めていきます。遊水地事業と併行し、遊水地の南に隣接するぼ場(田んぼ)では、令和2年度からぼ場整備事業が進められています(令和7年度完了予定)。それに合わせてぼ場整備地区内にある町道の野場横落線の改良も予定しています。

遊水地は、令和8年の完成を目指して工事を進めています。今後は、工事完成後の遊水地内面の平時利用計画についても、県と町などで検討を進めていく予定です。

問合せ

土木課 管理用地グループ

☎(0564)62・1111

(内線231)

FAX(0564)63・5129

愛知県西三河建設事務所

河川港湾整備課

☎(0564)27・2751